

第18回 高知港海岸地震津波対策技術検討会

議事概要

1 開催概要

日時：令和8年3月2日（火）13：30～16：10（web会議）

場所：高松サポート合同庁舎北館701会議室
（専門家、関係者はweb接続）

目的：本検討会は、高知港海岸（直轄区間）の整備をより効率的・経済的に進めていくため、地震津波対策を検討する段階において、景観・利便性等にかかる条件に配慮しつつ、新技術の適用性やコスト縮減・対策方法の妥当性等について専門家の助言等を頂き、要求性能の確実な確保について検討することを目的とする検討会である。

【専門家】

座長 菅野 高弘	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 フェロー）
高橋 英紀	（東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授）
竹信 正寛	（国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾施設研究室長）
鶴田 修己	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸水工研究領域 耐波研究グループ長）
野津 厚	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹（地盤・構造研究担当））

【オブザーバー】

鈴木 高二朗	（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹（沿岸・海洋研究担当））
宮田 正史	（国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究総務官）

【関係者】

- 浅見 尚史 (国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 部長)
- 野本 啓介 (国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 所長)
- 宮本 裕輔 (国土交通省 四国地方整備局 高知港湾空港技術調査事務所 所長)
- 岡本 通伸 (高知県 土木部 港湾・海岸課 課長) 【代理出席】
- 田原 圭 (高知市 都市建設部 副部長)

2 検討内容

【審議事項】

- ① 高知港海岸湾口地区(浦戸/御豊瀬工区)の基本断面(案)
- ② 高知港海岸湾口地区長浜水門の基本断面(案)

3 検討結果概要

1) 高知港海岸湾口地区(浦戸/御豊瀬工区)の基本断面(案)

- ① 基本断面(案)に関する検討内容は妥当である。ただし、以下の②～④について留意すること。
- ② 引波時の水位低下を考慮して、前面水位の設定について再確認すること。
- ③ 引波時の照査において、背後地盤内の間隙水圧の影響について再確認すること。
- ④ 引波時の照査において、既設構造物の安定性をFLIP解析だけでなく、静的照査でも確認すること。

2) 高知港海岸湾口地区長浜水門の基本断面(案)

- ① 提案された基本断面(案)は概ね妥当である。ただし、以下の②～③について留意すること。
- ② 取付護岸部を越流する津波の影響は、最大越流水深となる瞬間だけでなく越流途中も含め、マウンド等への影響を再確認すること。
- ③ 基本設計で想定した設計思想、各種構造諸元の設定根拠や水門に搭載する機材等の条件を実施・詳細設計へ明確に申し送りすること。